

「え、阪大ってこんなに万博に関わってるん!?!」

「せやで!」

～大阪・関西万博に出展する研究や活動、(ひとまず)まとめた～

大阪・関西万博の開幕まであと半年。
「大阪大学は何かのパビリオンに出展するのかな?」くらいに考えているそのあなた。

もっともっと、きっと想像以上に大阪大学は万博に関わっている。
今回の万博を「未来社会の実験場」として活用するのは大阪大学の多くの研究者や学生だ。研究者が、最先端の研究の先に描く未来の技術。学生たちによる、世界を1つにし、未来へバトンをつなぐための様々な取り組み。それぞれが、会場の夢洲をキャンパスに思い思いの未来予想図を描き出す。

皆さんも阪大といっしょに大阪・関西万博に「参加」して、未来について考えてみませんか。

※本ページで紹介する取り組みは、大阪大学の研究者・学生が関わる取り組みの一部です。
また、内容は変更となる可能性があります。

A 大阪ヘルスケアパビリオン 心筋シート、培養肉、人間洗濯機など 最先端の研究が揃い踏み!

大阪府・大阪市が中心となり、大阪大学も協力機関として関わる「大阪ヘルスケアパビリオン」は、日本政府館に次ぐ2番目の規模のパビリオン。「REBORN」をテーマに、「いのち」や「健康」の観点から、ミライの大阪の可能性を感じるための展示体験を提供する。大阪大学から多くの教員がアドバイザー等として企画に携わっている。

パビリオン内では、最先端の再生医療技術として、医学系研究科 澤芳樹名誉教授が開発に関わるiPS細胞を活用して作られる「心筋シート」などが展示される予定。工学研究科 崎崎典弥教授を中心とした「培養肉未来創造コンソーシアム」では、培養肉の展示が行われる。さらに、株式会社サイエンスが展示を予定する「ミライ人間洗濯機®」には、産業科学研究所 神吉輝夫准教授が心拍数などのセンサー・自律神経解析技術で協力している。また、薬学研究科 井上豪教授や先導的学際研究機構 大久保敬教授らが研究開発している酸化制御技術MA-T®に関して、日本MA-T工業会がミライの口腔ケア・環境ケアに関する展示を実施する。

また、中小企業・スタートアップが1週間単位で出展する「リポーンチャレンジ」には、株式会社アイ・ブレインサイエンス(アイトラッキング式認知機能評価法、医学系研究科 武田朱公寄附講座准教授)、株式会社LEP(光る植物、産業科学研究所 永井健治教授)などの多数の大阪大学発ベンチャーが展示を予定している。



MeW Projectの施設(提供:MeW Project) Copyright: ANO BY I Pione

B オランダパビリオン 「適塾」「緒方洪庵」との 連携目指す

蘭学を通じて近代日本医学の礎を築いたオランダ。オランダパビリオンは、阪大の精神的源流である「適塾」や「緒方洪庵」関係と連携したイベント開催などを検討している。マーク・カウパース総領事は「最先端医療とそれを支えてきた歴史をつなげたい」と語った。



培養肉



ミライ人間洗濯機®のイメージ(提供:株式会社サイエンス)

C シグネチャーパビリオン 「いのちの未来」 石黒浩教授が 「いのちを拓げる」 体験をプロデュース!

基礎工学研究科 石黒浩教授が大阪・関西万博の中核となるシグネチャーパビリオン「いのちの未来」(テーマ:いのちを拓げる)をプロデュースする。

外観は、いのちの起源をあらわす水に覆われ、水の都・大阪を象徴する水のペールをくぐり抜けて未来への旅が始まる。パビリオン全体で約50体弱のロボット・アンドロイドを駆使し、人間が科学技術によってどのように「いのち」を広げていくか、50年後の未来社会や暮らしがどうなっているかを探訪できる。来館者が「新しいいのち」の可能性に触れ、自らの未来について思いを巡らせる体験を目指している。



展示されるアンドロイド(提供:石黒浩教授) EXP02025

D パナソニックグループ パビリオン「ノモの国」 「ハザイソン」学生とコラボ!

「大阪大学Innovators' Club」で、端材をアップサイクルする「HAZAIHON(ハザイソン)」という活動を行っている工学部3年生 成富真さんのグループが、パナソニックグループのパビリオン「ノモの国」で発表する端材アップサイクル商品の制作に取り組む。



成富真さん

様々なパビリオンにて 生理用品の無償提供用 ディスペンサーで、 ウェルビーイングの向上を

人間科学研究科 杉田映理教授や学生などが進めるMeW Projectは、日本における月経の諸課題の研究に取り組み、月経のある人のウェルビーイングな社会を目指している。これは、トイレトペーパーと同様に、トイレに生理用品を無償提供するMeWディスペンサーを設置するというもの。MeWディスペンサーは複数の万博パビリオンで採用予定だ。



MeWディスペンサー(提供:MeW Project)

学生団体による取組み 世界との共創、環境保全活動など



大阪大学学生団体

大阪大学2025年日本国際博覧会推進委員会の「学生部会」として、紛争や差別のない社会実現のため、万博会場で世界の学生とオンラインオーケストラ開催をめざす「a-tune」▽ボーイスカウト活動の集大成として「海ゴミアート」プロジェクトを推進する「大阪大学ローバース」▽福島県の復興支援と魅力発信を目的に活動する「はまでいず」——の3団体が活動している。



a-tune

他にもあるかも!?
遊びに来て
ください。



大阪大学「ウニ博士」

■ いのち会議

大阪・関西万博のテーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン」。大阪大学は、関西の経済3団体(関西経済連合会、関西経済同友会、大阪商工会議所)とともに「いのち会議」事業を立ち上げ、海外大学とのネットワークも活用しながら、誰一人取り残すことなくすべての「いのち」が輝く社会の実現に向けた議論を進めています。そして、万博後の活動の理念的な基礎となる「いのち宣言」を万博会場から世界に発信する予定です。

[Web]
<https://inochi-forum.org>

■ 大阪大学2025年日本国際博覧会推進室

大阪大学2025年日本国際博覧会推進室では、「未来社会の構想」「海外の大学とのグローバルな共創」「次代を担う若者や学生の参画」に向けて、学内外の関係者と活動を展開しています。

[Web]
<https://sdgs.osaka-u.ac.jp/expo2025>

「大阪・関西万博全景図」提供:2025年日本国際博覧会協会/画像はイメージです。実際の会場とは配置・建物形状が一部異なる場合がございます。また本画像の無断転載・複製は一切お断りします。